



頭は扁平で、吻端が少し尖る。尾の断面は丸い。



鼻孔は斜めのスリット状で目に近い（図 5C）。



背面の黒帯の間に淡色の円斑がある。



胴と尾の背面に黒帯が目立つ個体。

コモドオオトカゲ 〈口が幅広いカバの顔つき〉

学名：*Varanus komodoensis*

外国語名：Komodo Dragon, Komodo Monitor, Komodowaran, Komodo Ora

異名：コモドドラゴン、オラ

原産地：小スンダ諸島のコモド島、リンチャ島、ギリモンタン島、
パダール島、フローレンス島

体長：最大全長 313cm±（頭胴長 125cm±）

類似種：レースオオトカゲ（幼体）、ミズオオトカゲ、ハナブトオオトカゲ

掲載種の原因国が日本に輸出するために発行した輸出許可数
(1975～2009年)：6 個体

①頭部の形態

- ・吻は著しく幅広い。
- ・鼻孔は丸く鼻先近くにある（図 5A）。

②鱗の形態、尾の断面の形

- ・尾の断面は、尾端部を除いて丸い。
- ・尾は短く、成体では尾率 1.0 程度になる。
- ・幼体の尾はやや長い、それでも尾率 1.5 以下である。
- ・体周鱗数は 170～176 列。

③体色と模様

- ・成体は全身が灰褐色で目立つ模様はないが、幼体は眼の周囲や首、背面に黄色い模様がある。
- ・首の模様は V 字型になり、背面では大柄の丸い模様となる。
- ・コモドオオトカゲの幼体は頸部から背にかけて明瞭な模様があり、頸部の背面では黄色い V 字となる。

④類似種との形態の違い

- ・最も大型になるオオトカゲで、世界の全てのトカゲの中でも最大の種である
- ・動物愛護管理法により**特定動物**に指定されている。
- ・コモドオオトカゲの幼体と、レースオオトカゲの幼体はよく似ており、両者を識別するためには鱗の形態などを詳しく調べる必要がある（体周鱗数は約 200（図 1））。
- ・コモドオオトカゲの幼体はミズオオトカゲに似ているが、ミズオオトカゲは眼上板が分化している。
- ・顔つきがやや似ているハナブトオオトカゲは、コモドオオトカゲよりも尾が長い。



幼体は斑紋が明瞭で体型は細長い。



幼体の腹面。



尾は短め。



成体の口はかなり幅広くがっしりしている。



亜成体。尾の付根から半分程度までの断面は丸い。



幼体のうちから吻端は丸い。

レースオオトカゲ 〈足指の内側に大きな鱗〉

- 学名：*Varanus varius*
 外国語名：Lace Monitor, Buntwaran
 異名：レースモニター
 原産地：オーストラリア中央部、及び東部
 体長：最大全長 198cm±（頭胴長 70cm±）
 類似種：コモドオオトカゲ（幼体）

掲載種の実産国が日本に輸出するために発行した輸出許可数
 （1975～2009年）：0 個体

①頭部の形態

- ・鼻孔は丸く、吻の側面に開いている。
- ・鼻孔から目までの距離は鼻孔から吻端までの距離の2倍以上ある。

②鱗の形態、尾の断面の形

- ・尾は長く、尾率は1.5～1.8。
- ・尾は強く側扁する（図3B）。
- ・後肢の第4指（一番長い指）の基部の内側に大きな鱗の列がある。

③体色と模様

- ・黒い地色に淡褐色の横帯模様や点模様があり、頸部の背面ではV字になる。
- ・背面に水玉模様が見られる場合もある。
- ・ウシのホルスタインを思わせる、黒色と淡褐色の大柄な横帯が並ぶ色彩型もある。

④類似種との比較

- ・レースオオトカゲの幼体とコモドオオトカゲの幼体は、よく似ているので注意が必要である。両種の識別のためには鱗の形態などを詳しく調べる必要がある（体周鱗数は約200）。